

② 千葉市シティセールスビデオ作成事業

1. 研究組織：

研究代表者： 伊藤敏朗（東京情報大学・教授）

研究分担者： 藤田修平（東京情報大学・嘱託准教授）

担 当 部 局： 千葉市農政局経済部観光プロモーション課

2. プロジェクトの目的：

千葉市役所からの委嘱により、千葉市の魅力をひろくインターネットを介して動画で発信していく「千葉市シティセールスビデオプロジェクト」を、本学のプロジェクト研究の一つとして位置づけ実施する。千葉市における充実した行政サービスや公共施設、緑や海などの豊かな自然環境、歴史的な文化遺産や伝統行事、活発で多様な各種地域イベントの姿を、映像で記録・発信していくことを目的とする。

3. プロジェクトの実施内容

千葉市にはどのような魅力があるかについて、学生の視点からまず調査する。つぎに、それらの魅力を、映像番組としてどのように収録・構成すればひろく国内外にアピールしていけるか、そこでいかなる撮影・編集技法が適切かなどについて検討し、本学の諸機材を活用して番組化する。最後に、これらの効果が視聴者にどのようなメッセージを伝え、影響をあたえるのかを、主観評価実験により調査する。

4. プロジェクトの成果

千葉市側との協議により、毎年 10 本以上の番組を制作・納品することとしており、平成 28 年度も別添の 10 作品を、平成 29 年 2 月末日までに完成、納品した。これは、本プロジェクトの納品回数で第 7 回目であり、これで累計制作・公開本数は計 92 本となった。

（当該千葉市HPのURLは以下の通り）

千葉市トップページ > ホーム > 市政全般 > 広報・広聴・市民参加 > 広報 > 千葉市の動画 > 魅力チャンネル

<https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/promotion/citysalesvideo.html>

- (1) 研究教育的側面の成果： 番組の制作を通じて、質的調査全般についての理解を深め、実践できるようになった。また、適切な機材を使用した、映像記録と発信を実践できるようになり、主観評価実験を計画実践し、実験データの適切な処理と解釈ができるようになった。
- (2) 行政施策的側面の成果： 千葉市の魅力をHPから動画コンテンツとして発信し、総計 30 万回余のアクセス数を獲得し、市側の当初期待を大幅に上回る実績をあげており、熊谷市長からも本プロジェクトの実施と成果について評価する旨の言葉を賜った。なお、本プロジェクトは千葉市公式 HP の以下の URL より発信されており、市の公式 HP 上にて本学のシンボルマークとゼミ紹介がなされるなど、千葉市における本学の存在感を強くアピールする結果となった。

○付録:

平成 28 年度分納品分の 10 本の制作内容については別添資料のとおり。

千葉シティーセールスビデオ 2016 年度分 (Vol.7 No.83~92)

Vol.83 千葉県文書館

Vol.84 幕張ビーチ花火フェスタ

Vol.85 第 23 回若葉区民まつり

Vol.86 千葉市動物公園 ZOO フェスタ

Vol.87 千葉ポートタワー初日の出

Vol.88 千葉モノレールまつり 2015

Vol.89 オートランド千葉 ダートトライアルコース

Vol.90 千葉湊大漁まつり 2015

Vol.91 千葉サンドアート 2015

Vol.92 千葉みなと工場夜景クルーズ